

# 野村北米REIT投信（マネープールファンド） 年2回決算型

## 運用報告書(全体版)

第12期（決算日2015年9月15日）

作成対象期間（2015年3月17日～2015年9月15日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
当ファンドは運用開始以来、「野村北米REIT投信（通貨選択型）年2回決算型」を構成するファンドとして永らくご愛顧いただきましたが、2019年9月17日に信託期間満了を迎えます。  
なお、「野村北米REIT投信（通貨選択型）毎月分配型／年2回決算型（マネープールファンドを除く）」については、2014年6月6日に信託期間を延長する約款変更を行い、信託期間終了日は2024年9月17日となりましたので、ご留意下さい。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2009年10月21日から2019年9月17日（当初、2014年9月16日）までです。	
運用方針	野村マネーマーケット マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として本邦通貨表示の短期有価証券に投資し、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。	
主な投資対象	野村北米REIT投信（マネープールファンド）年2回決算型	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村北米REIT投信（マネープールファンド）年2回決算型	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換したものに限るものとし、信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建て資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			純 資 産 額
		税 分 配 金	期 騰 落	中 率	
	円	円		%	百万円
8期(2013年9月17日)	10,011	10		0.0	48
9期(2014年3月17日)	10,014	0		0.0	52
10期(2014年9月16日)	10,017	0		0.0	49
11期(2015年3月16日)	10,012	10		0.0	9
12期(2015年9月15日)	10,014	0		0.0	5

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドは一時的に待機資金をプールしておくことを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

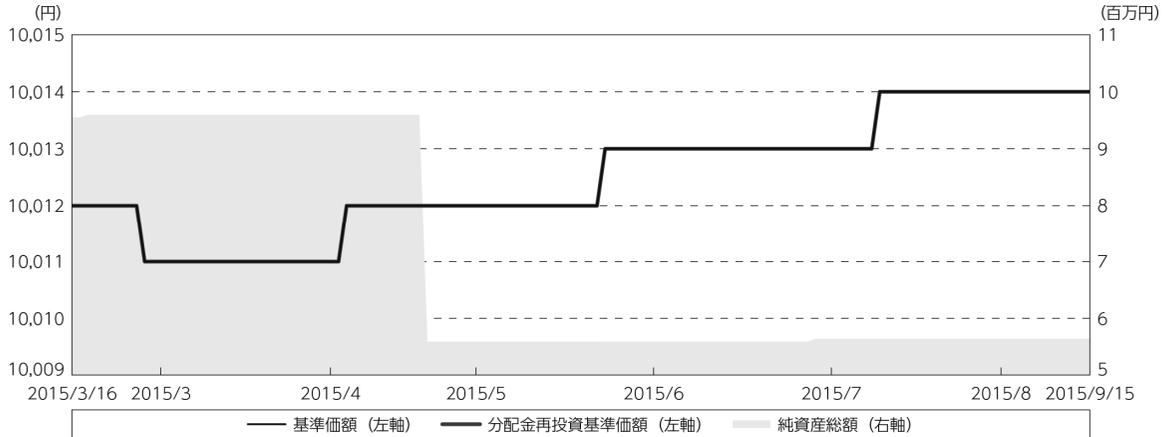
## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2015年3月16日	円 10,012		% -
3月末	10,011		△0.0
4月末	10,011		△0.0
5月末	10,012		0.0
6月末	10,013		0.0
7月末	10,013		0.0
8月末	10,014		0.0
(期 末) 2015年9月15日	10,014		0.0

\* 騰落率は期首比です。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期首：10,012円

期末：10,014円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 0.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2015年3月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している短期有価証券等からのインカムゲイン（利息収入）

## ○投資環境

国内経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中で緩やかな回復を続けてきましたが、4-6月期は個人消費や輸出といった内外需が落ち込み、景気回復が小休止状態にあることを示しました。

このような中、日本銀行は、前年比2%の物価上昇を目指す「量的・質的金融緩和」を継続しました。

### ・無担保コール翌日物金利の推移

期を通じて概ね0.06%台から0.07%台で推移しました。

### ・T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りの推移

国内投資家の恒常的な国債需要に加え、日本銀行による買入や海外からの資金流入に伴う需給ひっ迫により、利回りは概ねマイナス圏で推移しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [野村北米REIT投信（マネープールファンド）年2回決算型]

主要な投資対象である[野村マネーマーケット マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

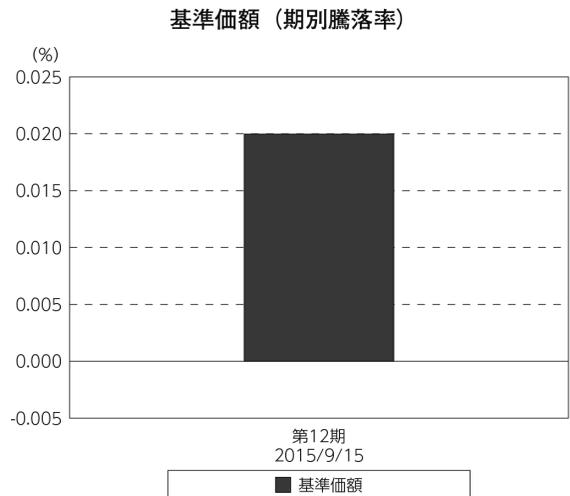
### [野村マネーマーケット マザーファンド]

- (1) 残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図るという方針のもと、運用してまいりました。
- (2) 今期の運用につきましては、残存期間の短い高格付けの公社債等によってポートフォリオを構築し、流動性に関しては、債券現先取引やコール・ローンなどにより運用してまいりました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは一時的に待機資金をプールしておくことを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

収益分配金については、利子・配当等収入、信託報酬などの諸経費を勘案し分配は行ないませんでした。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項目	第12期
	2015年3月17日～ 2015年9月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	114

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### [野村北米REIT投信（マネープールファンド）年2回決算型]

[野村マネーマーケット マザーファンド] 受益証券への投資比率を引き続き高位に維持します。

### [野村マネーマーケット マザーファンド]

今後も、残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年3月17日～2015年9月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 1	% 0.011	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(0)	(0.005)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.005)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.001)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
合 計	1	0.011	
期中の平均基準価額は、10,012円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2015年3月17日～2015年9月15日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村マネーマーケット マザーファンド	千口 189	千円 190	千口 3,983	千円 4,004

\* 単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年3月17日～2015年9月15日)

## 利害関係人との取引状況

<野村北米REIT投信（マネープールファンド）年2回決算型>  
該当事項はございません。

## &lt;野村マネーマーケット マザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 360	百万円 20	% 5.6	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 2.4%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2015年9月15日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネーマーケット マザーファンド	千口 9,302	千口 5,508	千円 5,538

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2015年9月15日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
野村マネーマーケット マザーファンド	千円 5,538	% 98.3
コール・ローン等、その他	98	1.7
投資信託財産総額	5,636	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2015年9月15日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,636,935
コール・ローン等	98,370
野村マネーマーケット マザーファンド(評価額)	5,538,565
(B) 負債	694
未払信託報酬	694
(C) 純資産総額(A-B)	5,636,241
元本	5,628,541
次期繰越損益金	7,700
(D) 受益権総口数	5,628,541口
1万円当たり基準価額(C/D)	10,014円

(注) 期首元本額9百万円、期中追加設定元本額0百万円、期中一部解約元本額4百万円、計算口数当たり純資産額10,014円。

## ○損益の状況（2015年3月17日～2015年9月15日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	29
受取利息	29
(B) 有価証券売買損益	1,854
売買益	2,170
売買損	△ 316
(C) 信託報酬等	△ 694
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,189
(E) 前期繰越損益金	△ 997
(F) 追加信託差損益金	7,508
(配当等相当額)	( 23,123)
(売買損益相当額)	(△15,615)
(G) 計(D+E+F)	7,700
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	7,700
追加信託差損益金	7,508
(配当等相当額)	( 23,177)
(売買損益相当額)	(△15,669)
分配準備積立金	41,102
繰越損益金	△40,910

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2015年3月17日～2015年9月15日）は以下の通りです。

項 目	第12期
	2015年3月17日～ 2015年9月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	19,741円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	23,177円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	21,361円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	64,279円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	114円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万円当たり)	0円

## ○分配金のお知らせ

---

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

---

該当事項はございません。

# 野村マネーマーケット マザーファンド

## 運用報告書

第6期（決算日2015年9月15日）

作成対象期間（2014年9月17日～2015年9月15日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建て資産への投資は行いません。

**野村アセットマネジメント**

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰	落			
	円		%	%	%	百万円
2期(2011年9月15日)	10,021		0.1	100.3	—	368
3期(2012年9月18日)	10,031		0.1	104.5	—	47
4期(2013年9月17日)	10,040		0.1	75.4	—	331
5期(2014年9月16日)	10,048		0.1	58.5	—	327
6期(2015年9月15日)	10,055		0.1	58.1	—	276

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

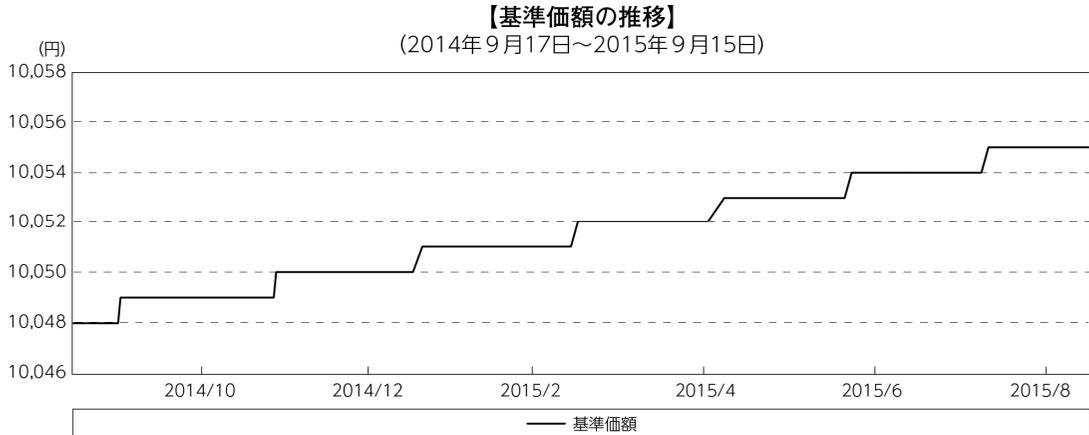
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落			
(期首) 2014年9月16日	円 10,048		% —	% 58.5	% —	% —
9月末	10,048		0.0	61.5	—	—
10月末	10,049		0.0	64.0	—	—
11月末	10,050		0.0	61.3	—	—
12月末	10,050		0.0	56.5	—	—
2015年1月末	10,051		0.0	110.4	—	—
2月末	10,051		0.0	68.4	—	—
3月末	10,052		0.0	67.6	—	—
4月末	10,052		0.0	68.3	—	—
5月末	10,053		0.0	82.5	—	—
6月末	10,054		0.1	57.5	—	—
7月末	10,054		0.1	61.7	—	—
8月末	10,055		0.1	61.7	—	—
(期末) 2015年9月15日	円 10,055		% 0.1	% 58.1	% —	% —

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

#### \* 基準価額は0.07%の上昇

基準価額は、期首10,048円から期末は10,055円となりました。

投資している短期有価証券等からのインカムゲイン（利息収入）。

## ○投資環境

国内経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中で緩やかな回復を続けてきましたが、4-6月期は個人消費や輸出といった内外需が落ち込み、景気回復が小休止状態にあることを示しました。

このような中、日本銀行は、前年比2%の物価上昇を目指す「量的・質的金融緩和」を継続しました。

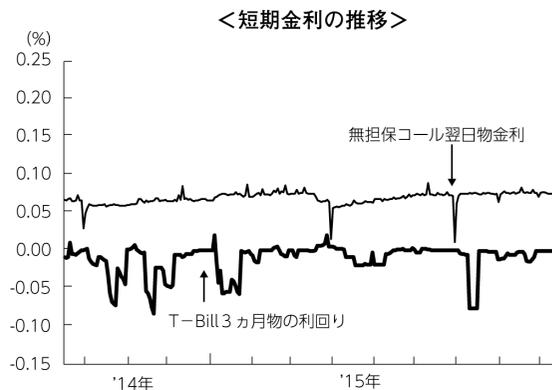
### ・無担保コール翌日物金利の推移

期を通じて概ね0.06%台から0.07%台で推移しました。

### ・T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りの推移

2014年9月以降、国内投資家の恒常的な国債需要に加え、日本銀行による買入や海外からの資金流入などによる需給ひっ迫から利回りは低下し、マイナスとなりました。

その後、一時的な需給の緩みにより利回りがプラス圏に戻る局面もありましたが、期末にかけて概ねマイナス圏で推移しました。



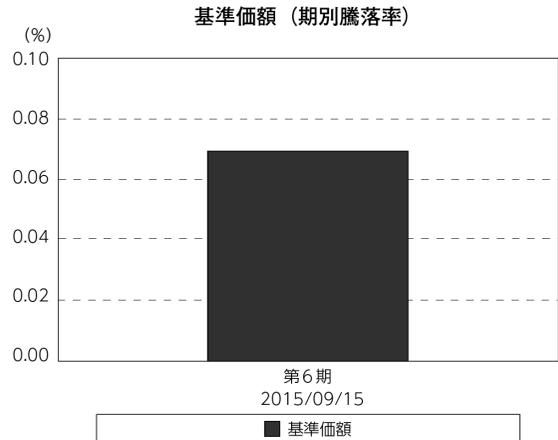
## ○当ファンドのポートフォリオ

- (1) 残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図るという方針のもと、運用してまいりました。
- (2) 今期の運用につきましては、残存期間の短い高格付けの公社債等によってポートフォリオを構築し、流動性に関しては、債券現先取引やコール・ローンなどにより運用してまいりました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎今後の運用方針

今後も、残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2014年9月17日～2015年9月15日)

該当事項はございません。

## ○ 売買及び取引の状況

(2014年9月17日～2015年9月15日)

### 公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 6,530,236	千円 6,080,263 ( 534,000)
	地方債証券	30,296	— ( 10,000)
	特殊債券	361,573	— ( 327,000)

\*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

\* ( ) 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○ 利害関係人との取引状況等

(2014年9月17日～2015年9月15日)

### 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 831	百万円 60	% 7.2	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2015年9月15日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	20,000 ( 20,000)	19,999 ( 19,999)	7.2 ( 7.2)	— (—)	— (—)	— (—)	7.2 ( 7.2)
地方債証券	20,000 ( 20,000)	20,240 ( 20,240)	7.3 ( 7.3)	— (—)	— (—)	— (—)	7.3 ( 7.3)
特殊債券 (除く金融債)	120,000 (120,000)	120,366 (120,366)	43.5 (43.5)	— (—)	— (—)	— (—)	43.5 (43.5)
合 計	160,000 (160,000)	160,606 (160,606)	58.1 (58.1)	— (—)	— (—)	— (—)	58.1 (58.1)

\* ( ) 内は非上場債で内書きです。

\* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* -印は組み入れなし。

\* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
国庫短期証券 第480回	—	10,000	9,999	2015/9/24	
国庫短期証券 第548回※	—	10,000	10,000	—	
小 計		20,000	19,999		
地方債証券					
兵庫県 公募平成18年度第7回	2.1	10,000	10,173	2016/7/27	
共同発行市場地方債 公募第35回	1.6	10,000	10,066	2016/2/25	
小 計		20,000	20,240		
特殊債券(除く金融債)					
日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第347回	1.3	20,000	20,004	2015/9/22	
首都高速道路債 政府保証第200回	1.3	10,000	10,003	2015/9/25	
公営企業債券 政府保証第859回	1.5	20,000	20,104	2016/1/25	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第14回	1.9	10,000	10,140	2016/6/22	
東日本高速道路債 政府保証第1回	1.6	20,000	20,058	2015/11/25	
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第6回	1.65	10,000	10,039	2015/12/18	
住宅金融支援機構債券 財投機関債第53回	0.4	10,000	10,000	2015/9/18	
日本学生支援債券 財投機関債第32回	0.161	10,000	10,000	2015/9/18	
鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 財投機関債第46回	0.255	10,000	10,012	2016/6/20	
小 計		120,000	120,366		
合 計		160,000	160,606		

\* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

\* ※印は現先で保有している債券です。

## ○投資信託財産の構成

(2015年9月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 160,606	% 58.1
コール・ローン等、その他	116,045	41.9
投資信託財産総額	276,651	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年9月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	276,651,401
コール・ローン等	115,764,799
公社債(評価額)	160,606,025
未収利息	239,615
前払費用	40,962
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	276,651,401
元本	275,124,889
次期繰越損益金	1,526,512
(D) 受益権総口数	275,124,889口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,055円

(注) 期首元本額325百万円、期中追加設定元本額0百万円、期中一部解約元本額51百万円、計算口数当たり純資産額10,055円。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

・野村北米REIT投信(マネープールファンド)年2回決算型	5百万円
・アジア・プラス(マネープールファンド)	19百万円
・野村北米REIT投信(円コース)毎月分配型	39百万円
・野村北米REIT投信(豪ドルコース)毎月分配型	26百万円
・野村北米REIT投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	128百万円
・野村北米REIT投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	0百万円
・野村北米REIT投信(円コース)年2回決算型	5百万円
・野村北米REIT投信(豪ドルコース)年2回決算型	3百万円
・野村北米REIT投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	7百万円
・野村北米REIT投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	0百万円
・アジア・プラス(円コース)	0百万円
・アジア・プラス(アジア通貨戦略コース)	32百万円
・USバンクローンファンド・為替ヘッジあり(毎月分配型)	0百万円
・USバンクローンファンド・為替ヘッジなし(毎月分配型)	0百万円
・USバンクローンファンド・為替ヘッジあり(年2回決算型)	0百万円
・USバンクローンファンド・為替ヘッジなし(年2回決算型)	0百万円
・野村北米REIT投信(米ドルコース)毎月分配型	0百万円
・野村北米REIT投信(メキシコペソコース)毎月分配型	0百万円
・野村北米REIT投信(米ドルコース)年2回決算型	0百万円
・野村北米REIT投信(メキシコペソコース)年2回決算型	0百万円

## ○損益の状況 (2014年9月17日～2015年9月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,873,110
受取利息	1,873,110
(B) 有価証券売買損益	△1,658,130
売買益	93
売買損	△1,658,223
(C) 当期損益金(A+B)	214,980
(D) 前期繰越損益金	1,570,393
(E) 追加信託差損益金	4,777
(F) 解約差損益金	△ 263,638
(G) 計(C+D+E+F)	1,526,512
次期繰越損益金(G)	1,526,512

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

①書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2014年12月1日＞

②書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2014年12月1日＞

③デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2014年12月5日＞

〈「野村北米REIT投信（通貨選択型）」（マネープールファンド（年2回決算型）を除く）の  
お申し込み時の留意点〉

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2015年9月15日現在)

ファンド名 年 月	円コース/豪ドルコース/ 南アフリカランドコース	ブラジルリアルコース	米ドルコース/ メキシコペソコース
2015年9月	－	－	－
10月	－	－	－
11月	11、26	2、11、20、26	11、26
12月	24、25	24、25	24、25

※ 2015年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。